

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	インターンシップ						
担当教員	単位認定者：青谷 実知代						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	1.0
授業のテーマ	将来のキャリアに関連した就業体験						
授業の概要	企業実習に行く前の事前教育では、まずインターンシップとは何かを理解する。次に仕事への取り組み、ビジネス・マナーなど、心の準備と目的を的確にさせ、実習の効果を高めるようにする。企業での実習体験を通して、社会人として必要な資質を学び、将来自分が何をやりたいのか、それをどう実現するのかを学生が主体的に考え、取り組めるようにサポートする。また自分の将来に必要な仕事へ積極的にチャレンジできるようサポートする。						
到達目標	就業体験を通じて、将来の自立と学生時代の過ごし方を含めた自分のキャリアを主体的に考え実行できるようになる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスインターンシップについてⅠ：日本の状況 2. ビジネスインターンシップについてⅡ：海外の状況 3. 業種についてⅠ 4. 職種についてⅡ 5. 会社の仕組みⅠ 6. 会社の仕組みⅡ 7. ビジネスマナーⅠ 8. ビジネスマナーⅡ 9. 電話のマナー 10. 受付のマナー 11. 訪問のマナー 12. 実習先企業について調べてみる 13. 企業調査 14. プレゼンテーションⅠ：調べて企業について発表 15. プレゼンテーションⅡ 16. 実習先のマッチングⅠ 17. 実習先のマッチングⅡ 18. ビジネス文書Ⅰ（受入れのお願い） 19. ビジネス文書Ⅱ 20. 挨拶 21. 実習Ⅰ 22. 実習Ⅱ 23. 実習Ⅲ 24. 実習Ⅳ 25. 実習Ⅴ 26. 実習Ⅵ 27. お礼状の書き方 28. 報告 29. プレゼンテーション 30. 総括 						
授業外における学習（準備学習の内容）	ウェブ・新聞などで、常に社会の動きを見る。 一般常識、マナーなどの知識を深める。						
授業方法	企業・団体の職場で就業体験を行う。						
評価基準と評価方法	事前レポート（20%）、事後レポート（20%）、実習先の評価（60%）で総合的に判断する。						
教科書	なし（必要に応じて資料を配布する）						
参考書	随時紹介する。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・池松 華奈子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・池松 華奈子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・大塩 佐公子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・小幡 祐可子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・小幡 祐可子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・鴨谷 香						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・澤田 和美						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・布谷 由美子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインII						
担当教員	増永 理彦・池松 華奈子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	就職活動の流れや実態を知り、社会で求められる基本スキルを身につける。 3年秋からの本格的な就職活動に臨む前に、就職活動の流れを知り、自分を知り、社会を知り、社会で求められる基本的スキルを身につけておくことは、より自分に合った進路選択ができる可能性が高まり、また自信にもつながります。キャリアデザインIIでは、ワークやグループディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自分や社会を知りながら「社会で求められる基本的スキル（コミュニケーション力・情報収集力・論理的思考力）」を身につけていきます。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。 *ただし、表面的な就職活動ノウハウを伝授するものではありません。この講座は、社会で必要となる力を、学びや大学生活を通じて獲得するためのものです。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「社会で求められる力を知る」： 社会で求められる基本の力を知り、大学生活の中でどうのばしていくかイメージできる。 「仕事について調べ方を学ぶ」：情報収集の仕方を学び行動することができる。 「目標を実行に移せる」：大学生活の中で立てた目標を実行にうつすことができる。						
授業計画	第1回 キャリアデザインを知る ※授業アンケート、チェックシート実施 第2回 就職活動の流れを知る 第3回 大学生活を充実させよう① 第4回 大学生活を充実させよう② 第5回 「大学生活充実計画」をプレゼンしよう 第6回 現在の就職環境を知り、自分の将来について考えよう 第7回 ワークスタイルの研究①（企業で仕事をするイメージを持つ） 第8回 ワークスタイルの研究②（様々な仕事の仕方を知る） 第9回 社会と大学のつながりを考えよう 第10回 社会で必要となる力とは①（コミュニケーション力） 第11回 社会で必要となる力とは②（情報収集力） 第12回 社会で必要となる力とは③（論理的思考力） 第13回 目標設定と行動計画をたてよう ～プレゼンテーション準備編～ 第14回 目標と行動計画を発表しよう ※プレゼン・課題提出、チェックシート実施 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	・キャリアサポートセンター演習 ・エントリーシート記入 ・パソコンを使った情報検索演習 ・内定者の先輩の話聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講座終了時に講師が指定するワークシートやレポートを提出していただきます。（55点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (BASIC)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						

参考書	
-----	--

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインII						
担当教員	増永 理彦・池松 華奈子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどのような人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	就職活動の流れや実態を知り、社会で求められる基本スキルを身につける。 3年秋からの本格的な就職活動に臨む前に、就職活動の流れを知り、自分を知り、社会を知り、社会で求められる基本的スキルを身につけておくことは、より自分に合った進路選択ができる可能性が高まり、また自信にもつながります。キャリアデザインIIでは、ワークやグループディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自分や社会を知りながら「社会で求められる基本的スキル（コミュニケーション力・情報収集力・論理的思考力）」を身につけていきます。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。 *ただし、表面的な就職活動ノウハウを伝授するものではありません。この講座は、社会で必要となる力を、学びや大学生活を通じて獲得するためのものです。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「社会で求められる力を知る」： 社会で求められる基本の力を知り、大学生活の中でどうのばしていくかイメージできる。 「仕事について調べ方を学ぶ」：情報収集の仕方を学び行動することができる。 「目標を実行に移せる」：大学生活の中で立てた目標を実行にうつすことができる。						
授業計画	第1回 キャリアデザインを知る ※授業アンケート、チェックシート実施 第2回 就職活動の流れを知る 第3回 大学生活を充実させよう① 第4回 大学生活を充実させよう② 第5回 「大学生活充実計画」をプレゼンしよう 第6回 現在の就職環境を知り、自分の将来について考えよう 第7回 ワークスタイルの研究①（企業で仕事をするイメージを持つ） 第8回 ワークスタイルの研究②（様々な仕事の仕方を知る） 第9回 社会と大学のつながりを考えよう 第10回 社会で必要となる力とは①（コミュニケーション力） 第11回 社会で必要となる力とは②（情報収集力） 第12回 社会で必要となる力とは③（論理的思考力） 第13回 目標設定と行動計画をたてよう ～プレゼンテーション準備編～ 第14回 目標と行動計画を発表しよう ※プレゼン・課題提出、チェックシート実施 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	・キャリアサポートセンター演習 ・エントリーシート記入 ・パソコンを使った情報検索演習 ・内定者の先輩の話聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講座終了時に講師が指定するワークシートやレポートを提出していただきます。（55点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (BASIC)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						

参考書	
-----	--

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザイン研究						
担当教員	単位認定者：青谷 実知代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	企業業界の現状と今後の展望を知る						
授業の概要	IT化・グローバル化の進展、産業構造の変化、企業浮沈等、変革が激しい現代を生きていく学生に、現場で実践を積んでおられる多様な講師をお招きし、広範囲な職業観や勤労観を学びます。						
到達目標	職場や地域で活躍する上で必要な知識を身につけること。						
授業計画	<p>本講義はそれぞれの講師が下記の講義項目について、1コマずつ担当するオムニバス形式による授業です。この科目はキャリア教育センターが開講するもので、学生に「各業界の現状と今後の展望」を紹介し、「各業界に必要な資質とその涵養」について理解させることを目的とします。</p> <p>第1回 4月 10日 キャリアデザインとは何か 青谷実知代 第2回 4月 17日 心理学科 人生をいかに生きるか—心と体の健康 第3回 4月 24日 (食品・アグリビジネス) NPOフードバンク関西 第4回 5月 1日 (住宅・建設・不動産) 大和ハウス工業(株) 第5回 5月 8日 (証券・保険) 野村證券(株) 大浜久彦 第6回 5月 15日 (ホテル) 神戸ポートピアホテル(株) 福寿寛有 第7回 5月 22日 (商社) 帝人フロンティア(株) 森正衛 第8回 5月 29日 (マスコミ) 毎日放送 美藤啓文 第9回 6月 5日 (サービス・旅行) (株)日本旅行 西坂好隆 第10回 6月 12日 (情報・通信) (株)ラポール 野老みわ 第11回 6月 19日 (航空) (株)ANA総合研究所 森本全 第12回 6月 26日 (通信・教育) (株)エヌゲージ 佐々木道正 第13回 7月 3日 (生活・サービス運輸) JR西日本(株) 小菅謙一 第14回 7月 10日 (銀行) (株)三菱東京UFJ銀行 新保史絵子 第15回 7月 17日 (製造業) (株)ワコール 岡田雅枝 第16回 7月 24日 —課題実施— 青谷実知代</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：日頃から新聞や情報誌を読み、関心ある業界の傾向をつかむ。 授業後学習：学んだ企業の会社概況などを読み、企業の理解を深める。						
授業方法	毎回提出する小レポート、講義後に提出するレポート、出席状況から総合的に評価します。						
評価基準と評価方法	出席を重視する。この講義はオムニバス形式で実施するので毎回出席するよう心がけて下さい。						
教科書	なし（必要に応じて資料を配布する）						
参考書	授業中に紹介する。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）																																																																		
科目名	キャリアデザイン研究																																																																		
担当教員	単位認定者：青谷 実知代																																																																		
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0																																																												
授業のテーマ	企業業界の現状と今後の展望を知る																																																																		
授業の概要	IT化・グローバル化の進展、産業構造の変化、企業浮沈等、変革が激しい現代を生きていく学生に、現場で実践を積んでおられる多様な講師をお招きし、広範囲な職業観や勤労観を学びます。																																																																		
到達目標	職場や地域で活躍する上で必要な知識を身につけること。																																																																		
授業計画	<p>本講義はそれぞれの講師が下記の講義項目について、1コマずつ担当するオムニバス形式による授業です。この科目はキャリア教育センターが開講するもので、学生に「各業界の現状と今後の展望」を紹介し、「各業界に必要な資質とその涵養」について理解させることを目的とします。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>10月 2日</td> <td>キャリアデザインとは何か</td> <td>青谷実知代</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月 9日</td> <td>人生をいかに生きるか—心と体の健康</td> <td>寺井さちこ</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10月 16日</td> <td>(食品・アグリビジネス) NPOフードバンク関西</td> <td>浅葉めぐみ</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>10月 23日</td> <td>(住宅・建設・不動産) 大和ハウス工業(株)</td> <td>千原誠</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>10月 30日</td> <td>(証券・保険) 野村證券(株)</td> <td>西元孝和</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>11月 6日</td> <td>(ホテル) (株)ポートピアホテル(予定)</td> <td>福寿寛有</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>11月 13日</td> <td>(商社) 帝人フロンティア(株)</td> <td>森政衛</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>11月 20日</td> <td>(サービス・旅行) (株)日本旅行</td> <td>西坂好隆</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>11月 27日</td> <td>(金融) (株)三菱東京UFJ銀行</td> <td>新保史絵子</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>12月 4日</td> <td>(情報・通信) ラポール(株)</td> <td>野老みわ</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>12月 11日</td> <td>(航空) (株)ANA総合研究所</td> <td>森本全</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>12月 18日</td> <td>(通信・教育) (株)エヌゲージ</td> <td>佐々木道正</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>1月 8日</td> <td>(生活・サービス運輸) JR西日本</td> <td>小菅謙一</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>1月 15日</td> <td>(マスコミ) (株)毎日放送(予定)</td> <td>美藤啓文</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>1月 22日</td> <td>(製造業) (株)ワコール</td> <td>藤井太郎</td> </tr> </table>							第1回	10月 2日	キャリアデザインとは何か	青谷実知代	第2回	10月 9日	人生をいかに生きるか—心と体の健康	寺井さちこ	第3回	10月 16日	(食品・アグリビジネス) NPOフードバンク関西	浅葉めぐみ	第4回	10月 23日	(住宅・建設・不動産) 大和ハウス工業(株)	千原誠	第5回	10月 30日	(証券・保険) 野村證券(株)	西元孝和	第6回	11月 6日	(ホテル) (株)ポートピアホテル(予定)	福寿寛有	第7回	11月 13日	(商社) 帝人フロンティア(株)	森政衛	第8回	11月 20日	(サービス・旅行) (株)日本旅行	西坂好隆	第9回	11月 27日	(金融) (株)三菱東京UFJ銀行	新保史絵子	第10回	12月 4日	(情報・通信) ラポール(株)	野老みわ	第11回	12月 11日	(航空) (株)ANA総合研究所	森本全	第12回	12月 18日	(通信・教育) (株)エヌゲージ	佐々木道正	第13回	1月 8日	(生活・サービス運輸) JR西日本	小菅謙一	第14回	1月 15日	(マスコミ) (株)毎日放送(予定)	美藤啓文	第15回	1月 22日	(製造業) (株)ワコール	藤井太郎
第1回	10月 2日	キャリアデザインとは何か	青谷実知代																																																																
第2回	10月 9日	人生をいかに生きるか—心と体の健康	寺井さちこ																																																																
第3回	10月 16日	(食品・アグリビジネス) NPOフードバンク関西	浅葉めぐみ																																																																
第4回	10月 23日	(住宅・建設・不動産) 大和ハウス工業(株)	千原誠																																																																
第5回	10月 30日	(証券・保険) 野村證券(株)	西元孝和																																																																
第6回	11月 6日	(ホテル) (株)ポートピアホテル(予定)	福寿寛有																																																																
第7回	11月 13日	(商社) 帝人フロンティア(株)	森政衛																																																																
第8回	11月 20日	(サービス・旅行) (株)日本旅行	西坂好隆																																																																
第9回	11月 27日	(金融) (株)三菱東京UFJ銀行	新保史絵子																																																																
第10回	12月 4日	(情報・通信) ラポール(株)	野老みわ																																																																
第11回	12月 11日	(航空) (株)ANA総合研究所	森本全																																																																
第12回	12月 18日	(通信・教育) (株)エヌゲージ	佐々木道正																																																																
第13回	1月 8日	(生活・サービス運輸) JR西日本	小菅謙一																																																																
第14回	1月 15日	(マスコミ) (株)毎日放送(予定)	美藤啓文																																																																
第15回	1月 22日	(製造業) (株)ワコール	藤井太郎																																																																
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：日頃から新聞や情報誌を読み、関心ある業界の傾向をつかむ。 授業後学習：学んだ企業の会社概況などを読み、企業の理解を深める。</p>																																																																		
授業方法	毎回提出する小レポート、講義後に提出するレポート、出席状況から総合的に評価します。																																																																		
評価基準と評価方法	出席を重視する。この講義はオムニバス形式で実施するので毎回出席するよう心がけて下さい。																																																																		
教科書	なし（必要に応じて資料を配布する）																																																																		
参考書	授業中に紹介する。																																																																		

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	企業の基礎知識						
担当教員	倉島 進						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	経済の仕組みと企業の仕組みを理解する						
授業の概要	<p>大学を卒業すれば、社会人として企業で働く人も多いと思います。資本主義社会においては、企業活動を通じて、経済活動を行い人々は、生活しています。社会人として、最低限知っておかなければならない事から、就職活動において知っていれば有利な知識まで、選りすぐり、講義していきます。</p> <p>特に、経済用語は、通常の会話ではなかなか出てきませんが、一つの事象から言葉に注目し、その事象に必要な経済用語、企業用語を解説するといった形で講義を進めてきます。これらの知識は、無理から暗記するのではなく、自然に体得することが重要と考えています。このため、経済用語を理解するための手助けとして、最近の新聞からのニュースを取り上げ、内容理解を高めます。</p> <p>まずは、社会の仕組みを知ることから始め、企業の仕組みまで講義をいたします。企業の仕組みでは、事務職として就職すれば必要な知識も盛り込んでいく予定にしています。</p>						
到達目標	日経新聞の内容が理解できる程度の知識の習得を行う。特に、経済、問題についての理解を深める						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 社会の仕組み（経済活動について） 3 企業の役割（業種、業界について） 4 企業の本当の目的 5 証券市場の仕組み 6 日本銀行の役割 7 円高、円安、為替のしくみ 8 デフレ、インフレ経済のしくみ 9 企業の決算発表 10 税金のしくみ 11 これだけある身の回りの法律 12 企業の仕組みと業務の流れ 13 会社の事務職の仕事 14 会社とお金 15 総まとめ <p>今後の経済情勢の変化によっては、講義内容の一部を変更することがあります。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日ごろから、日経新聞等のニュースに注目しておいてください。						
授業方法	<p>各回のテーマに沿ったプリントを作成し、そのプリントを中心に授業を進めていきます。プリントにおいては、いくつかの質問事項や、みなさんと検討することも盛り込んでいます。これらをみなさんと一緒に解決することで、理解力を高めていきます。</p> <p>参加型の授業を目指していますので、授業中の発言に対して、加点します。どんどん発言してください。（正解不正解は関係ありません）</p>						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表（小テストを含む）、レポートを加味して評価する。						
教科書	特になし						
参考書	初回授業時に発表する						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	企業の基礎知識						
担当教員	倉島 進						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	経済の仕組みと企業の仕組みを理解する						
授業の概要	<p>大学を卒業すれば、社会人として企業で働く人も多いと思います。資本主義社会においては、企業活動を通じて、経済活動を行い人々は、生活しています。社会人として、最低限知っておかなければならない事から、就職活動において知っていれば有利な知識まで、選りすぐり、講義していきます。</p> <p>特に、経済用語は、通常の会話ではなかなか出てきませんが、一つの事象から言葉に注目し、その事象に必要な経済用語、企業用語を解説するといった形で講義を進めてきます。これらの知識は、無理から暗記するのではなく、自然に体得することが重要と考えています。このため、経済用語を理解するための手助けとして、最近の新聞からのニュースを取り上げ、内容理解を高めます。</p> <p>まずは、社会の仕組みを知ることから始め、企業の仕組みまで講義をいたします。企業の仕組みでは、事務職として就職すれば必要な知識も盛り込んでいく予定にしています。</p>						
到達目標	日経新聞の内容が理解できる程度の知識の習得を行う。特に、経済、問題についての理解を深める						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 社会の仕組み（経済活動について） 3 企業の役割（業種、業界について） 4 企業の本当の目的 5 証券市場の仕組み 6 日本銀行の役割 7 円高、円安、為替のしくみ 8 デフレ、インフレ経済のしくみ 9 企業の決算発表 10 税金のしくみ 11 これだけある身の回りの法律 12 企業の仕組みと業務の流れ 13 会社の事務職の仕事 14 会社とお金 15 総まとめ <p>今後の経済情勢の変化によっては、講義内容の一部を変更することがあります。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日ごろから、日経新聞等のニュースに注目しておいてください。						
授業方法	<p>各回のテーマに沿ったプリントを作成し、そのプリントを中心に授業を進めていきます。プリントにおいては、いくつかの質問事項や、みなさんと検討することも盛り込んでいます。これらをみなさんと一緒に解決することで、理解力を高めていきます。</p> <p>参加型の授業を目指していますので、授業中の発言に対して、加点します。どんどん発言してください。（正解不正解は関係ありません）</p>						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表（小テストを含む）、レポートを加味して評価する。						
教科書	特になし						
参考書	初回授業時に発表する						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	植田 麻衣子・松永 邦哉						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2~3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来のライフプランを作成し、お金の観点から今後の人生を考えるとともに、FP技能士3級レベルの社会保険・生命保険・資産運用等、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなるとなく取組にくいものです。</p> <p>しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 植田 2. 【しる】ライフイベントを知る・・・将来起こりうる様々な出来事をしり、どれくらいのお金がかかるのかを知る 松永 3. ライフプランニングその1（実習）・・・グループで一つの家庭のライフイベントを話し合いで作成する 松永 4. ライフプランニングその2（実習）・・・作成したライフイベントをライフプランニング表にまとめてみる。ライフプランニング表提出 松永 5. 【しる】人生のリスク【まもる】社会保険の知識その1・・・将来のリスク（不安）の解消方法を知る 給与明細の見方の解説 松永 6. 【まもる】社会保険の知識その2・・・給与から控除される社会保険料について解説 松永 7. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 8. 【まもる】損害保険の知識・・・損害保険のしくみと概要の解説 松永 9. 【つかう】不動産・車の購入のしかた その1・・・住宅・車購入の際に知っておくべきこと・注意すべき点を解説 植田 10. 【つかう】不動産・車の購入のしかた その2・・・住宅ローン・カーリース等に関する知識の取得 植田 11. 【ふやす】金融商品のしくみ 総論・・・お金を増やすとは リスクとリターンについて解説 植田 12. 【ふやす】金融商品のしくみ 各論・・・預金・株・国債などの具体的な資産運用手段について理解する 植田 13. 【おさめる】税金の知識・・・所得税のしくみを中心に税金の知識を取得する 植田 14. 【このす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておくべき知識や税金の話 植田 15. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験と評価 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞・テレビ等で経済に関するニュースに興味をもって接してください（とくに日経平均株価・為替レート・年金・税金の情報など）。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 教科書及びレジュメにもとづいて授業を行います。						
評価基準と評価方法	出席、試験成績の各点数と授業態度（課題提出の有無や自主発表）を総合的に評価します。 割合は、平常点（出席含む）60%、試験40%						
教科書	書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 ISBN978-4-86367-025-9						
参考書	特になし						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	植田 麻衣子・松永 邦哉						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	2~3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来のライフプランを作成し、お金の観点から今後の人生を考えるとともに、FP技能士3級レベルの社会保険・生命保険・資産運用等、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなると取組にくいものです。</p> <p>しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 植田 2. 【しる】ライフイベントを知る・・・将来起こりうる様々な出来事をしり、どれくらいのお金がかかるのかを知る 松永 3. ライフプランニングその1（実習）・・・グループで一つの家庭のライフイベントを話し合いで作成する 松永 4. ライフプランニングその2（実習）・・・作成したライフイベントをライフプランニング表にまとめてみる。ライフプランニング表提出 松永 5. 【しる】人生のリスク【まもる】社会保険の知識その1・・・将来のリスク（不安）の解消方法を知る 給与明細の見方の解説 松永 6. 【まもる】社会保険の知識その2・・・給与から控除される社会保険料について解説 松永 7. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 8. 【まもる】損害保険の知識・・・損害保険のしくみと概要の解説 松永 9. 【つかう】不動産・車の購入のしかた その1・・・住宅・車購入の際に知っておくべきこと・注意すべき点を解説 植田 10. 【つかう】不動産・車の購入のしかた その2・・・住宅ローン・カーリース等に関する知識の取得 植田 11. 【ふやす】金融商品のしくみ 総論・・・お金を増やすとは リスクとリターンについて解説 植田 12. 【ふやす】金融商品のしくみ 各論・・・預金・株・国債などの具体的な資産運用手段について理解する 植田 13. 【おさめる】税金の知識・・・所得税のしくみを中心に税金の知識を取得する 植田 14. 【このす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておくべき知識や税金の話 植田 15. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験と評価 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞・テレビ等で経済に関するニュースに興味をもって接してください（とくに日経平均株価・為替レート・年金・税金の情報など）。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 教科書及びレジュメにもとづいて授業を行います。						
評価基準と評価方法	出席、試験成績の各点数と授業態度（課題提出の有無や自主発表）を総合的に評価します。 割合は、平常点（出席含む）60%、試験40%						
教科書	書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 ISBN978-4-86367-025-9						
参考書	特になし						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	植田 麻衣子・松永 邦哉						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2～3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来のライフプランを作成し、お金の観点から今後の人生を考えるとともに、FP技能士3級レベルの社会保険・生命保険・資産運用等、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなると取組にくいものです。</p> <p>しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 植田 2. 【しる】ライフイベントを知る・・・将来起こりうる様々な出来事をしり、どれくらいのお金がかかるのかを知る 松永 3. ライフプランニングその1（実習）・・・グループで一つの家庭のライフイベントを話し合いで作成する 松永 4. ライフプランニングその2（実習）・・・作成したライフイベントをライフプランニング表にまとめてみる。ライフプランニング表提出 松永 5. 【しる】人生のリスク【まもる】社会保険の知識その1・・・将来のリスク（不安）の解消方法を知る 給与明細の見方の解説 松永 6. 【まもる】社会保険の知識その2・・・給与から控除される社会保険料について解説 松永 7. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 8. 【まもる】損害保険の知識・・・損害保険のしくみと概要の解説 松永 9. 【つかう】不動産・車の購入のしかた その1・・・住宅・車購入の際に知っておくべきこと・注意すべき点を解説 植田 10. 【つかう】不動産・車の購入のしかた その2・・・住宅ローン・カーリース等に関する知識の取得 植田 11. 【ふやす】金融商品のしくみ 総論・・・お金を増やすとは リスクとリターンについて解説 植田 12. 【ふやす】金融商品のしくみ 各論・・・預金・株・国債などの具体的な資産運用手段について理解する 植田 13. 【おさめる】税金の知識・・・所得税のしくみを中心に税金の知識を取得する 植田 14. 【このす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておくべき知識や税金の話 植田 15. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験と評価 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞・テレビ等で経済に関するニュースに興味をもって接してください（とくに日経平均株価・為替レート・年金・税金の情報など）。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 教科書及びレジュメにもとづいて授業を行います。						
評価基準と評価方法	出席、試験成績の各点数と授業態度（課題提出の有無や自主発表）を総合的に評価します。 割合は、平常点（出席含む）60%、試験40%						
教科書	<p>書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 I S B N 978-4-86367-025-9</p>						
参考書	特になし						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・平 まりこ						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・平 まりこ						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・平 まりこ						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション：授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは：ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間：相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化：ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業：ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ：ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ：ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ：コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価：身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ：ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究：ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究：東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究：ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・平 まりこ						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	<p>ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。</p> <p>現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。</p>						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明</p> <p>第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係</p> <p>第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情</p> <p>第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景</p> <p>第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業</p> <p>第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション</p> <p>第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて</p> <p>第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等</p> <p>第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する</p> <p>第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える</p> <p>第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」</p> <p>第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・平 まりこ						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2~3	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計A						
担当教員	倉島 進						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業の経理の仕組みを通じて、必要な簿記の知識を習得する。						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。</p> <p>簿記・会計Aの知識やその基本を生かしつつ、さまざまな企業活動についての記録のパターンを勉強するとともに、実際に報告書を作成します。</p> <p>この授業では、簿記に慣れたしんでもらうために、できるだけやさしい言葉で解説します。</p> <p>特に、就職後、経理として必要な知識を習得することを目的として、いわゆる日常の経理処理が十分にできる力を本講座を通じて習得してもらうことを想定しています。</p> <p>そのため、いわゆる簿記検定試験に出る難しい論点を排除し、簿記の全体像をつかむことを主眼とします。</p> <p>日商簿記3級に挑戦する方は、本講座受講後後期に開講する簿記会計Bを続けて受講することをお勧めします。</p>						
到達目標	企業実務において経理担当者レベルの簿記の知識の習得						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の世界へようこそ！ 2 簿記のしくみを理解しよう 3 報告書を作ってみよう 4 現金のしくみと小口現金出納 5 商品売買のしくみ（信用取引、手形取引） 6 商品売買のしくみ（商品有高帳） 7 商品売買のしくみ（予約販売、手形記入帳） 8 固定資産、有価証券のしくみ 9 資本金、税金のしくみ 10 その場面ではこの仕訳（その他の債権債務） 11 簿記一巡の仕訳の流れ（まとめとして） 12 決算の流れ 13 決算処理のしくみ 14 帳簿の締切と報告書の作成 15 総まとめと試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習をするより、毎回の授業の内容を理解するようにテキストを読んでください。						
授業方法	<p>テキストとして、知る・わかる・うかる 『はじめての簿記入門』を利用して、授業を進めます。場合によっては、補充プリント等を配布することで、授業の理解度を深めてもらいます。</p> <p>簿記は、積み上げですので、できるかぎり出席をしてください。授業中の演習を含めて、授業中での理解を深めてもらいます。</p> <p>参加型の授業を目指していますので、授業中の発言に対して、加点します。どんどん発言してください。（正解不正解は関係ありません）</p> <p>簿記会計Bを続けて受講することで、日本商工会議所主催の簿記検定試験3級の合格レベルへ到達する予定です。</p>						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表（小テストを含む）、定期試験（前期、後期）を加味して評価する。						
教科書	知る・わかる・うかる 『はじめての簿記入門』（セルバ出版）						
参考書	初回時に発表する。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計A						
担当教員	倉島 進						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業の経理の仕組みを通じて、必要な簿記の知識を習得する。						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。</p> <p>簿記・会計Aの知識やその基本を生かしつつ、さまざまな企業活動についての記録のパターンを勉強するとともに、実際に報告書を作成します。</p> <p>この授業では、簿記に慣れたしんでもらうために、できるだけやさしい言葉で解説します。</p> <p>特に、就職後、経理として必要な知識を習得することを目的として、いわゆる日常の経理処理が十分にできる力を本講座を通じて習得してもらうことを想定しています。</p> <p>そのため、いわゆる簿記検定試験に出る難しい論点を排除し、簿記の全体像をつかむことを主眼とします。</p> <p>日商簿記3級に挑戦する方は、本講座受講後後期に開講する簿記会計Bを続けて受講することをお勧めします。</p>						
到達目標	企業実務において経理担当者レベルの簿記の知識の習得						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の世界へようこそ！ 2 簿記のしくみを理解しよう 3 報告書を作ってみよう 4 現金のしくみと小口現金出納 5 商品売買のしくみ（信用取引、手形取引） 6 商品売買のしくみ（商品有高帳） 7 商品売買のしくみ（予約販売、手形記入帳） 8 固定資産、有価証券のしくみ 9 資本金、税金のしくみ 10 その場面ではこの仕訳（その他の債権債務） 11 簿記一巡の仕訳の流れ（まとめとして） 12 決算の流れ 13 決算処理のしくみ 14 帳簿の締切と報告書の作成 15 総まとめと試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習をするより、毎回の授業の内容を理解するようにテキストを読んでください。						
授業方法	<p>テキストとして、知る・わかる・うかる 『はじめての簿記入門』を利用して、授業を進めます。場合によっては、補充プリント等を配布することで、授業の理解度を深めてもらいます。</p> <p>簿記は、積み上げですので、できるかぎり出席をしてください。授業中の演習を含めて、授業中での理解を深めてもらいます。</p> <p>参加型の授業を目指していますので、授業中の発言に対して、加点します。どんどん発言してください。（正解不正解は関係ありません）</p> <p>簿記会計Bを続けて受講することで、日本商工会議所主催の簿記検定試験3級の合格レベルへ到達する予定です。</p>						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表（小テストを含む）、定期試験（前期、後期）を加味して評価する。						
教科書	知る・わかる・うかる 『はじめての簿記入門』（セルバ出版）						
参考書	初回時に発表する。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）																																																						
科目名	簿記・会計B																																																						
担当教員	植田 麻衣子・松永 邦哉																																																						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	1~2	単位数	2.0																																																
授業のテーマ	簿記会計Aの内容を踏まえて、日商簿記検定試験に挑戦できるレベルの知識を達成する																																																						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。</p> <p>この授業では、簿記に慣れしただけで終わらせないために、できるだけやさしい言葉で解説します。簿記・会計Aの知識やその基本を生かしつつ、日商簿記検定試験3級の合格レベルまで、本講座を通じて目指します。簿記は続けて学習することが必要であり、自己トレーニングも必要になってきます。授業中の配布の問題や参考図書の問題集をこなすことにより、「日商簿記検定の3級」程度の力をつけることを想定しています。</p>																																																						
到達目標	日商簿記検定試験3級合格レベル																																																						
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>簿記一巡の流れ（簿記Aの総復習）</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>演習①（代表的取引の仕訳）</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>決算の流れ</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>決算整理作業（経過勘定科目）</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>決算整理作業（売上原価、資産の評価）</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>精算表の作成（仕組みの理解）</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>演習②（精算表の作成）</td> <td>松永</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>帳簿の締切と報告書の作成</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>演習③（決算書の作成）</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>伝票会計</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>演習④（帳簿、伝票の演習）</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>演習⑤（試験対策）</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>後期試験</td> <td>植田</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>後期総まとめ</td> <td>植田</td> </tr> </tbody> </table>							回	テーマ	担当	1	オリエンテーション	植田	2	簿記一巡の流れ（簿記Aの総復習）	松永	3	演習①（代表的取引の仕訳）	松永	4	決算の流れ	松永	5	決算整理作業（経過勘定科目）	松永	6	決算整理作業（売上原価、資産の評価）	松永	7	精算表の作成（仕組みの理解）	松永	8	演習②（精算表の作成）	松永	9	帳簿の締切と報告書の作成	植田	10	演習③（決算書の作成）	植田	11	伝票会計	植田	12	演習④（帳簿、伝票の演習）	植田	13	演習⑤（試験対策）	植田	14	後期試験	植田	15	後期総まとめ	植田
回	テーマ	担当																																																					
1	オリエンテーション	植田																																																					
2	簿記一巡の流れ（簿記Aの総復習）	松永																																																					
3	演習①（代表的取引の仕訳）	松永																																																					
4	決算の流れ	松永																																																					
5	決算整理作業（経過勘定科目）	松永																																																					
6	決算整理作業（売上原価、資産の評価）	松永																																																					
7	精算表の作成（仕組みの理解）	松永																																																					
8	演習②（精算表の作成）	松永																																																					
9	帳簿の締切と報告書の作成	植田																																																					
10	演習③（決算書の作成）	植田																																																					
11	伝票会計	植田																																																					
12	演習④（帳簿、伝票の演習）	植田																																																					
13	演習⑤（試験対策）	植田																																																					
14	後期試験	植田																																																					
15	後期総まとめ	植田																																																					
授業外における学習（準備学習の内容）	簿記検定はなれが必要です。そのためには、日ごろから、課題等を含め、自身での練習が必要です。																																																						
授業方法	<p>テキストとして、知る・わかる・うかる 『はじめての簿記入門』を利用して、授業を進めます。場合によっては、補充プリント等を配布することで、授業の理解度を深めてもらいます。授業⇒演習と繰り返して、理解力をアップを図ります。簿記は、積み上げですので、できるかぎり出席をしてください。授業中の演習を含めて、授業中での理解を深めてもらいます。</p> <p>本講座は、簿記に関する基礎知識を習得していることを前提として、授業を行いますので、簿記会計Aの受講者もしくは、高校等で簿記会計に関する授業の経験者のレベルに設定して授業と、演習を繰り返して行います。授業を通じて、日本商工会議所主催の簿記検定試験3級の合格レベルへ到達する予定です。簿記は自己学習も必要です。このために、テキストと並行した問題集で問題演習を含めていただきます。</p>																																																						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表（小テストを含む）、定期試験を加味して評価する。																																																						
教科書	知る・わかる・うかる 『はじめての簿記入門』（セルバ出版）																																																						
参考書	初回時に発表する。																																																						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計B						
担当教員	倉島 進						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	簿記会計Aの内容を踏まえて、日商簿記検定試験に挑戦できるレベルの知識を達成する						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。</p> <p>この授業では、簿記に慣れしただけで終わらせないために、できるだけやさしい言葉で解説します。簿記・会計Aの知識やその基本を生かしつつ、日商簿記検定試験3級の合格レベルまで、本講座を通じて目指します。簿記は続けて学習することが必要であり、自己トレーニングも必要になってきます。授業中の配布の問題や参考図書の問題集をこなすことにより、「日商簿記検定の3級」程度の力をつけることを想定しています。</p>						
到達目標	日商簿記検定試験3級合格レベル						
授業計画	<p>回 テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 簿記一巡の流れ（簿記Aの総復習） 3 演習①（代表的取引の仕訳） 4 決算の流れ 5 決算整理作業（経過勘定科目） 6 決算整理作業（売上原価、資産の評価） 7 精算表の作成（仕組みの理解） 8 演習②（精算表の作成） 9 帳簿の締切と報告書の作成 10 演習③（決算書の作成） 11 伝票会計 12 演習④（帳簿、伝票の演習） 13 演習⑤（試験対策） 14 後期試験 15 後期総まとめ 						
授業外における学習（準備学習の内容）	簿記検定はなれが必要です。そのためには、日ごろから、課題等を含め、自身での練習が必要です。						
授業方法	<p>テキストとして、知る・わかる・わかる 『はじめての簿記入門』を利用して、授業を進めます。場合によっては、補充プリント等を配布することで、授業の理解度を深めてもらいます。授業⇒演習と繰り返して、理解力をアップを図ります。簿記は、積み上げですので、できるかぎり出席をしてください。授業中の演習を含めて、授業中での理解を深めてもらいます。</p> <p>本講座は、簿記に関する基礎知識を習得していることを前提として、授業を行いますので、簿記会計Aの受講者もしくは、高校等で簿記会計に関する授業の経験者のレベルに設定して授業と、演習を繰り返して行います。授業を通じて、日本商工会議所主催の簿記検定試験3級の合格レベルへ到達する予定です。簿記は自己学習も必要です。このために、テキストと並行した問題集で問題演習を含めていただきます。</p>						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表（小テストを含む）、定期試験を加味して評価する。						
教科書	知る・わかる・わかる 『はじめての簿記入門』（セルバ出版）						
参考書	初回時に発表する。						